
「腎盂尿管移行部通過障害による先天性水腎症の自然予後と経過観察法の確立」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに埼玉医科大学病院小児科で腎盂尿管移行部通過障害による先天性水腎症と診断された患者さんのうち、少なくとも 2 年間経過観察できた患者さんが対象です。研究対象期間は 2017 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日になります。

2. 研究の目的

腎盂尿管移行部通過障害による先天性水腎症の自然予後を明らかにし、経過観察の中止時期を含めた経過観察法を確立することです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 4 月 1 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院小児科において、研究責任者である秋岡 祐子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

腎盂尿管移行部通過障害による先天性水腎症と診断された患者さんの診療記録から、初診時から最終観察時まで以下の項目を収集します。

- ・出生時情報：母体情報（胎児エコーを含む）、在胎週数、出生時体重、Apgar score
 - ・診療情報：臨床診断、診療経過、治療内容、年齢、身長、体重、エコー・CT・MRI・シンチグラムによる腎形態検査、血液・尿検査データ（尿一般検査、血清クレアチニン）
- 腎盂尿管移行部通過障害による先天性水腎症の自然予後（治癒・改善率）を検討し、経過観察

の中止時期を含めた経過観察法を示します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 小児科 秋岡 祐子（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 小児科 吉村 萌
- ・ 埼玉医科大学病院 小児科 飛田和 えりか
- ・ 埼玉医科大学病院 小児科 遠藤 琢也

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 小児科 秋岡祐子

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1218（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：腎盂尿管移行部通過障害による先天性水腎症の自然予後と経過観察法の確立

○研究責任者：埼玉医科大学病院 小児科 秋岡 祐子